

案内

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、「待降節」(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(紫)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨節」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

東日本大震災の被災地を覚えての祈禱会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共に祈りましょう。

1月11日(金)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分～13時

青山キャンパス オルガニスト養成講座受講生発表会

日時 2月2日(土) 15時

場所 ガウチャー記念礼拝堂

大学卒業礼拝(昼間部・第二部合同)

日時 3月23日(土) 9時

場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

洗礼を受けられた方へ

本学在学中に、教会で洗礼を受けられた方は、各キャンパス宗教センターにお申し出下さい。記念に新約聖書スタディ版を差し上げます。

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈禱」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

青山学院大学礼拝週報

2013. 1. 7.
1. 14.

No. 31,32合併号

公現節第1・2週

キリスト教のシンボル [29]

「福音書」

福音書の標章(シンボル)は、旧約聖書のエゼキエル書1章10節、および新約聖書のヨハネの黙示録4章6節から7節に基づいていると言われます。マタイの標章は天使、マルコはライオン、ルカは雄牛、ヨハネは鷲であり、それぞれ翼を持っています。

マタイの標章が天使である理由は、書き出しがイエスキリストの系図で始まっており(マタイ1:1~17)、キリストの人性について語っている

からです。マルコの標章である翼の生えたライオンは、キリストの王たる威厳を示しています。

ルカの標章が翼の生えた雄牛であるのは、キリストの死における犠牲を示しているからです。旧約聖書に記されているように、雄牛は羊と同様に、犠牲として献げられる動物です。(レビ記1:2~4)。しかしイエス・キリストこそ、十字架の死によって、人間の罪を完全に贖ってくださった御方であることが、雄牛の標章には示されています。

ヨハネの標章が翼を広げて空高く飛ぶ鷲である理由は、幅広く鋭い洞察力を持っているからです。それは冒頭の神学的序文(ヨハネ1:1~18)を読むだけでも納得できるでしょう。イエスの神性を強調すると共に、イエスこそ神の言葉が受肉した御方であることを明言しています。

このように、4つの福音書は、異なる豊かな特徴を持っています。それぞれの個性が、キリスト教の福音の豊かさや深さを表しているのです。



ST. MATTHEW THE EVANGELIST
マタイ(M.P.)



ST. MARK THE EVANGELIST
マルコ(M.)



ST. LUKE THE EVANGELIST
ルカ(M.)



ST. JOHN THE EVANGELIST
ヨハネ(A.P.)

今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、

忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3、4節)